

特集① 若者・シニアのチャレンジ応援

ふくい若者ステーション

若者が多く集まり活動・交流の拠点となっているコワーキングスペースやカフェ21カ所を「ふくい若者ステーション」として認定しています。夢に向けて一歩踏み出したいと考えている方は、ぜひ訪れてみては。地域で活躍する“おもしろい大人”たちに会えますよ。



ふくい若者ステーションの一つ 株式会社 akeru(福井市中央3-5-12)

ちょこっと働く!?シニア相談会を開催!

「できる範囲で働いてみたい」とお考えのシニアの皆さまに、仕事探しをお手伝いするシニア相談会を開催します。具体的な働き方について県内企業と直接お話しもできます。

入場無料、服装自由、書類の準備は不要です。ぜひお越しください!

- 【日時・場所】時間:13時~16時
 2月28日(月)結とびあ(大野市天神町1-19)
 3月1日(火)プラザ萬象(敦賀市東洋町1-1)
 3月2日(水)小浜市総合福祉センター(小浜市遠敷84-3-4)

問い合わせ窓口
 福井県シニア人材活躍支援センター
 福井市手寄1-4-1 AOSSA7階
 TEL:0776-43-0881 FAX:43-0882

知事メッセージ みなさんと一緒に

みなさんのチャレンジを応援します。

県では、自由な発想や活動の多様性が広がるよう若者の活動を応援するほか、就労や社会貢献など、シニア活躍の場の拡大にも取り組んでいます。

全ての人が輝ける「誰もが主役の福井」を一緒に目指していきましょう!



知事 杉本 達治

0人を超える若者とディレクターが直接会い、アドバイスや関係者とのマッチング、情報発信を行っています。

シニアの活躍を応援!

人生100年時代。「もっと活躍の場が欲しい」というシニアを後押しするのが、「福井県シニア人材活躍支援センター」です。長年企業に勤め専門的な技術や経験を持つ60歳以上の人

材と、経験や技能を求める県内企業から求人情報の提供、人材紹介までの一連のサービスを行い、昨年度は83人が新たな職場で第2の仕事人生に踏み出しました。

ふるさと納税を活用して応援!

県では、起業や新商品開発など新たなチャレンジに取り組む方を応援

するため、「ふるさと納税」と「クラウドファンディング」を組み合わせて事業資金を全国から募る仕組みを設けています。ふるさと納税制度により、寄付者は20000円の自己負担で応援したい事業に寄付することができ、今年度は、13件が寄付目標額を達成しました。令和4年度の事業募集は4月上旬を予定。アイデアや夢の実現への一歩を踏み出したい方をお待ちしています。

- ④ 県民活躍課(若者のチャレンジ応援) 0776-20-0237 ⑤ 20-0632
- ④ 定住交流課(ふるさと納税CF) 0776-20-0665 ⑤ 20-0644
- ④ 労働政策課(シニア人材活躍) 0776-20-0390 ⑤ 20-0648

「誰もが主役の福井」を目指して、県ではみなさんの夢の実現を徹底応援していきます。新たなチャレンジに取り組んでみませんか?



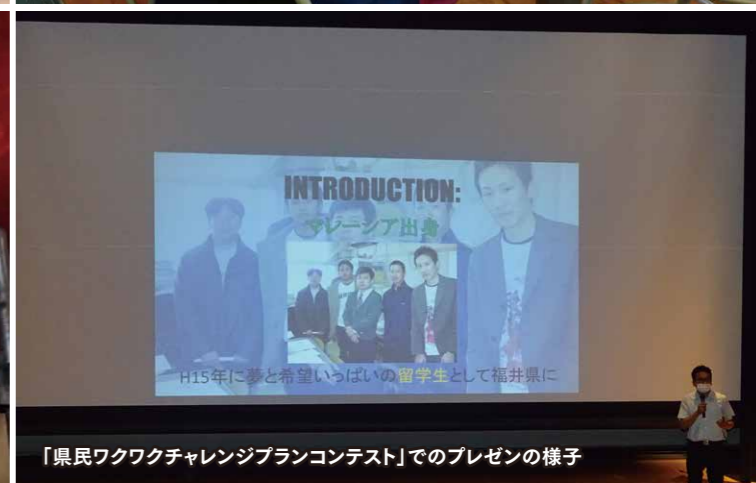
「チャレンジ応援チーム」集合写真



「ふくい若者ミライ会議」の様子



ふるさと納税を活用した水上花火の打ち上げ(越前町)



「県民ワクワクチャレンジプランコンテスト」でのプレゼンの様子

「一人ひとりが主役」を応援

県では、多様な個性を大事にし、みんなが自分らしく輝く「誰もが主役の福井」を目指し、夢の実現や生きがいづくりのためにチャレンジする県民のみなさんを、さまざまな活動を通して応援しています。



若者のチャレンジを応援!

福井県の未来を創る若者が集まり交流する「ふくい若者ミライ会議」。9月に開催されたワークショップでは、福井のために活動したいと考える若者たちが、飲食店の経営を通じた福井の食材や伝統的工芸品の魅力発信などに取り組む3人から直接アドバイスを受け、最初の一步を踏み出す具体的な実行計画書を作成しました。

また、2019年から続いている「県民ワクワクチャレンジプランコンテスト」では、今年度17の活動を採択し活動支援金を交付しました。この中には、越前海岸の水仙の新たな販路を開拓するアイデアや、日本での就職を希望する全国の外国人留学生と県内企業をマッチングする就活ツアーといった、グローバルな企画もありました。さらに今回から、まちづくりを担う人材育成を行うなど、県内の事業実施に

長けた方々が、プランの実行力を高めるための指導も行っていきます。

県とともにこれらのイベントを運営する、若者活動応援組織「ふくい若者フォーラム」代表の藤本一希さんは、「気負わず『面白そう』と思ったことを始められる文化をつくりたい。道路のゴミ拾いや公園での遊びも、何か新しいことを始めるきっかけの一つになります」と話し、県の企画や制度も上手に活用してほしいと言います。



藤本一希さんは福井大学医学部時代に、医療者向けの研修やウェブメディア運営などを行う「REGIE(リジー)」を立ち上げた。

このほか県では、今年度から、県内のワクワクドキドキを高める若者を発掘・応援するため「チャレンジ応援ディレクター」および「チャレンジ応援チーム」を新設。すでに県内各地で約20